



津山  
だいすき!

わたしも  
ごんごまつり

祭  
ひらあつ  
ごみがしもなく  
感じしました

「ごんごまつり」の会場近  
隣に住む者ですが、毎年、祭  
りが終わって人通りがなくな  
ったら家の周りのごみを拾  
うことにしています。  
今年も「ごんごまつり」の  
最中にはごみがたくさんある  
のを確認していたので、例年  
通り静かになってからごみを  
拾いに出してみました。  
ところが、あつたはずのご  
み一つもありません。物陰  
にあつたはずのごみまでなく



問い合わせ先 観光振興課  
☎32・20802

なっています。「ごんごまつり」の運営関係者が拾われたのだと思います。  
吉井川河岸緑地公園で「ごんごまつり」が開催されるようになってから、残念ながらこのようなことはありませんでしたので、感じしました。  
今年「ごんごまつり」を運営された関係者に慰労の気持ちを伝えてください。(市内・男性)  
「ごんごまつり」終了後の清掃については、祭り運営スタッフはもちろんのこと、多くのボランティアの皆さんに、非常に暑い中で熱心にごみ拾いをしていただきました。  
また、来場の皆さんもごみをポイ捨てせず、分別収集などにご協力いただきました。  
これから皆さんも喜んでいただけると「ごんごまつり」の運営を心掛けていきます。

# わたしのおすすめ

## 歌って 踊って 演技して～みんな集まれ!



みゅーじかる劇団「きんちやい座」  
座長 中西由美子さん (大田)

平成22年11月に開催される「第25回国民文化祭・おかやま2010」において、まなび広場にいみ(新見市)でミュージカル「たまがき」を新見市民、

真庭市のミュージカル「Vivo」[きんちやい座]が一つになって披露します。

「たまがき」は、室町時代、新見庄の代官の妹と僧との悲恋の物語。新見市民にとってなじみ深いエピソードです。

歌や踊り、芝居に興味のある人、わたしたちと「たまがき」を作り上げてみませんか?

「きんちやい座」は、美作地方のお話や文化をミュージカルで伝えていこうと、小さな子どもから大人まで集まり活動している「みゅーじかる劇団」です。ぜひオーディションに参加していただ

き、一緒に国民文化祭を盛り上げましょう。  
ほかにも「津山太助と仲間たち」でのエコや地産地消の啓蒙活動を始め、いろいろな活動を行っています。  
“大人も子どももみなおなじ”初心者も大歓迎です。気軽にみんな「きんちやい座」にきんちやい!

### 第25回国民文化祭・おかやま2010 出演作品 「たまがき」オーディション

と き 10月10日(土) 午後6時～  
と ころ しらゆり幼稚園 (上河原)  
内 容 簡単な歌、踊り、せりふ読み  
オーディション  
代 1,000円  
持ってくるもの  
動きやすい服装、上履き、飲み物  
問い合わせ先  
中西さん ☎090-6838-2744、☎27-1714



## ほっと情報

小福田 透くん (北陵中3年)  
「クライミングアジアユース選手権」優勝



小福田くんは7月24～26日にカザフスタンで開催されたクライミングの「アジアユース選手権」に出場。

傾斜が90度以上のオーバーハングした壁(高さ15～20m)を登り、制限時間内の到達高度を競う「リード種目」のユースB(1994～95年生まれ)クラスで、見事優勝しました。

今後の目標は「10月に開催される新潟国体で上位に入ること」と語る小福田くん。これからも夢に向かって頑張ってください。



カのスーパースター、デニス・シエリさんに挑戦しようと90kg級に出場。残念ながら準優勝でした。  
8月18日にインドで開催されたアジア大会では16回目の日本代表として出場し、優勝したばかりです。前回はユニホームに言いがかりをつけられて失格扱いにされましたから、リベンジできてうれしいですね。  
今後の夢は?  
自宅でジムを開いています。倉庫を改造したもので、道具なども手作りのものがほとんどです。もっと良い環境を作って、気持ちの強い津山産(ブランド)の選手を育て、世界に押し

世界大会の表彰台に石本さんと石本さんが育てた津山産の力持ちが並んで立つ日が楽しみです。  
これからの頑張ってください。  
また、県パワーリフティング協会理事として、ベンチプレスの県大会を毎年津山で開催しています。今年で16回目、毎年50～60人が出場します。世界チャンピオンなどを招待し、選手に刺激を与えてもらったりもしています。岡山県でもますますベンチプレスが盛んになるよう、これからも頑張っていきます。



▲平成17年、チェコ大会で2連覇を果たした石本さん

## 未来をひびかる 津山人

### 津山産の世界一の力持ち

ベンチプレスサー

石本 直樹さん(神戸)



世界マスタースベンチプレス選手権大会82・5kg級で2連覇するなど、世界で活躍する石本さんにお話を伺いました。

なぜベンチプレスを始めたのですか?  
26歳の時に、シユワルツェネツガー主演の映画を観てボディビルにアコがれました。そんな時に商店街の綱引き大会に出場。その時知り合った仲間のお坊さんがボディビルダーで、お堂に置いていたベンチプレスを上げさせてもらったんです。当時の体重は72kg。体重より軽

い60kgを持ち上げるのがやっとでした。3カ月間毎日通うくらい夢中になり、127・5kgを持ち上げるまでになりました。その後、そのお坊さんの紹介で大阪のジムに通うようになり、本格的にベンチプレスを始めました。平成2年から3年間、週に1、2回、3時間練習しては津山に帰って来る生活を送りましたね。

世界大会で活躍していますね? 1年目には全日本選手権に出場。6年目に初優勝し、世界大会やアジア大会に出場。初めての世界大会は6位でした。  
平成16年にスロバキアで開催された世界大会82・5kg級で初優勝。前チャンピオンとの接戦の末の優勝で、観客も感動してくれました。翌年にはチェコ大会で2連覇を果たしました。  
今年の5月に開催されたニュージーランド大会では、アメリ